

‘18(平成30)年6月29日



7月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



ハーモニーをつくる

学校長 岡野 真由美

釜利谷小学校では、月に一度、音楽朝会が開かれます。音楽朝会では各学年が音楽の時間に学習した曲を発表し、その月の課題曲を全校で歌うことになっています。6月は6年生の発表を聴きました。サビの部分から二部合唱になる「翼をください」を、6年生はしっかりした音程と伸びのある声で歌い上げていました。翼を広げて大空に羽ばたきたいという願いの込められた歌詞が、下級生の心に届けられました。聴き終わった後1年生が、「すごかった。」と感想を話したことが印象的でした。

今は小学校の教科書にも載っているこの歌は、フォークソング全盛のころ、「赤い鳥」というグループが美しい歌声で演奏していたものです。ギターのコード伴奏に乗せて、愛唱歌にする人たちも多かったと聞きます。当時の子どもたちは、ギターを奏でながら数人のグループで声を合わせて歌うことに大いにあこがれていました。私も例外ではなく、姉のギターをこっそりと持ち出しては、月刊誌の付録の歌本やコード表とにらめっこをしながら、ポロンポロンと音を出して楽しんでいました。いつかギターの伴奏に乗せて歌えるようになりたいなあと思いながら。そんな思い出のあるころの曲でしたから、音楽室から歌声が聞こえてくるのを耳にして、わくわくしながら何度も練習風景を見に行きました。ときどきは私も歌に入れてもらいながら、「この大空に・・・」からのハーモニーを仕上げていくのが楽しみでした。

「ハーモニー」という言葉には、「たくさんの物どうしの関係がうまくいっていること」「調和」という意味があります。耳を澄ませて音を聴くこと、自分のパートを守りながら相手を支えていくこと、そしてみんなと合わせていこうとする気持ちをもつことが美しいハーモニーにつながります。音楽の世界だけでなく、人間のハーモニーが乱れると自分勝手に行動したりけんかが起こったりします。学級づくりや人とのかわりにも「ハーモニー」は欠かせません。

6月16日の土曜参観日に、第1回 教育懇話会を開催しました。委員の方々には、授業の参観をしていただいた後、今年度の学校の運営方針について説明させていただき、ご意見・ご感想をうかがいました。通学路の安全や自転車のマナーアップについて、本校のさまざまなボランティア活動について、体力の大切さについてなど、貴重なお話を聞かせていただくことができました。これからも、釜利谷小学校では保護者の皆さまや地域の方々とのハーモニーを大切にしながら、「たのしい わたしの学校」づくりに向けて、さまざまな教育活動をより充実させていきます。どうぞよろしく願いいたします。